

4月12日付の日刊工業新聞に紹介されました。

# ダイナックス

ダイナックスは自動変速機(A/T)用クラッチ板を主力とし、世界で活躍する。同社のクラッチ板は国内外に年間約4億3000万枚を出荷し、シエラは国内で6割、海外で4割を占める。2015年4月、社長に就任した秋田幸治は、自身を「現状に満足するタイプではない」と話す。需要や市場動向の変化に迅速に反応し、さらなる成長を目指す。

## 摩擦材に特化

同社は摩擦材関連に特化する独自の開発力が強みだ。摩擦材のベースである紙などの素材から製品を一貫して作り上げる。秋田は「ニーズを常に上回る先行的な開発を進めたい」と、日々高まる顧客ニーズに素

# 成長企業チカラの源泉

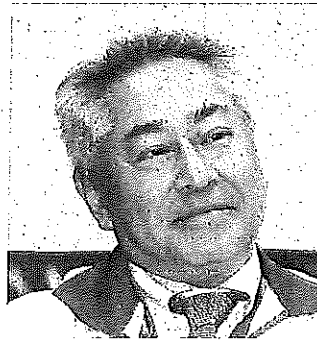
軟に対応できる体制を築く。

今後開発力の強化などに向け、苫小牧工場(北海道苫小牧市)に隣接する土地を取得し、工場や物流センター、開発部門の新たな施設を18年度末までに設ける予定だ。雇用も200人程度見込んでおり「今後、数十年競争力を持つて勝ち

## 開発力強化に継続投資

残るためにも今できる投資をしていく」と力を込める。

クラッチ板の展開については「米国での新しいビジネスが17年度から動き出し、18年度は15年度比で販売は2割ほど増える」とも

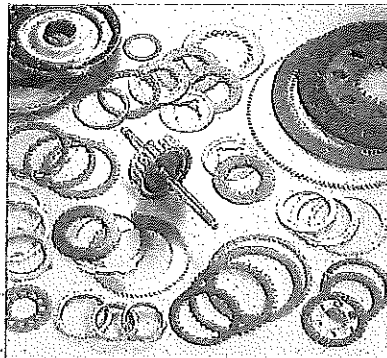


社長 秋田 幸治氏

### 早い決断

秋田が経営で気をつけている点は「想定範囲は広

げておいて、実行する時は絞って取り組む」こと、  
「できるだけ早く決められる」こと  
だ。想定をき、秋田は「あつという間



ダイナックスの製品群

# ニーズの先行く製品 目指す

モノづくり基盤・成長企業

だった」と振り返る。「幹部社員に『変えよう』と言いつつ出てきたが、やっと手応えが出てきた」と会社の

これまでも同社の姿勢を「やることを増やすだけで、『引く』ことをしなかった」と指摘する。無駄を削り、人材・資金を浮かし、本来、使うべきことに投資をする。秋田の打ち出す一手が、これからも同社の新たな姿を描き出す。  
(敬称略、札幌・山岸 渉)

### 【企業プロフィール】

▽所在地 北海道千歳市上長都1053の1▽設立 73年(昭48)▽従業員 11624人▽売上高(連結) 611億円(15年3月期)  
(火曜日に掲載)